

令和8年度 第2回梅坪台地域会議 会議録

■ 日時 令和8年6月9日(火) 午後7時～午後8時30分

■ 場所 梅坪台交流館 2階 大会議室

■ 出席者

〈委員〉	安部 隆一	岩崎 洋平	岩松 初男
	木村 公紀	小泉 修	杉山 健章
	高山 浩	鎮西 和也	三岡 英隆

〈交流館〉 杉山 浩子 (梅坪台交流館 館長)

〈事務局〉 塚田 征弘 (地域交流課 副課長)

槌井 功二 (地域交流課 担当長) 佐野 綾香 (地域交流課 書記)

■ 内容

- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 地区コミュニティ会議報告
 - 4 梅坪台地域健康づくり事業の取組概要
 - 5 「地域と子どものつながり」に関する提言について
 - 6 つなぐ会事業について
 - 7 今年度の地域会議の協議内容について(協議)
 - 8 わくわく事業紹介
 - 9 連絡事項
- (1) 会議開催場所の変更について

■ 議事内容(要約)

1 開会

鎮西副会長より本日の会議目標を共有した。

- ①昨年度の地域会議の取組内容の理解すること
- ②今年度の地域会議の協議内容を決定すること

2 会長あいさつ

杉山会長あいさつ

3 地区コミュニティ会議報告

杉山会長から以下のとおり報告

- ・ 6月6日、梅坪台中学校の梅の収穫、140 kg収穫し、63,500 円の売上
- ・ ふれあいまつり、二十歳のつどいなど行事の実施内容、スケジュールの説明

4 梅坪台地域健康づくり事業の取組概要

令和4年度の提言の内容や梅坪台地域健康づくり計画について、事務局から説明を行った。

〈主な意見・質疑〉

- ・ 梅坪台地域の現状として取り上げられている75歳以上の女性の「身体活なし」というのは、具体的にどのような状態なのか。
→どのようなアンケートであったのか保健師に確認し、次回回答をする。
- ・ この事業を行ったことによって健康に対する意識変化は見られたのか、中間地点での集計を行っているのか。また、市民の意識調査や特定健康診査の受診率などの数値を調べて、方向性を変えるなどの対策がとれるのではないのか。

5 「地域と子どものつながり」に関する提言について

鎮西副会長から、令和8年の「地域と子どものつながり」に関する提言及び市長からのコメントについて説明があった。

6 つなぐ会事業について

三岡委員から先日開催された「キッズのスタートをいろうつどい」について報告があった。

- ・ 4月に3自治区7名のサポート委員による「つなぐ会」が発足し、5月30日及び31日に自治区別に開催した。
- ・ 子ども100名と地域住民スタッフ35人（自治区、保護者、高齢者クラブなど）が参加した。
- ・ 12月に開催予定の次回イベントに向けて、6月から準備を進めていく予定である。

〈主な意見・質疑〉

- ・ 地域で子どもを育てる、よい取組であると感じる一方で、保護者の本来の役割が忘れられてしまう懸念がある。

- ・子どもの参加率は約 1 / 2。高学年になるほど他のスポーツ活動等との競合で参加率が下がる傾向がある。1 年生は 8 割程度の参加であった。
- ・高齢者は子どもとのふれあいができ、大変喜んでいて、1 2 月のイベントも楽しみにしている。

7 今年度の地域会議の協議内容について(協議)

今年度の協議内容として、「地域と子どもとのつながりの強化」及び「新たな地域課題の協議」の 2 つの案を事務局から提示し、今後の協議テーマの方向性、進め方について協議を行った。

〈主な意見〉

■今年度の地域会議の方向性について

- ・少子化により地域の子どもの数が減少している中、地域と子どもとのつながりを強化する取組を地域会議として進めていきたい。
- ・地域と子どもとの関係性を、これまで以上に広げていく必要がある。
- ・4 町合同の盆踊り大会や一人暮らし高齢者を招いて小中学生との食事会を復活させてほしい。
- 盆踊りの復活は正直難しいと思う。今の制限に適合した新しい取組を考えていくとよい。
- ・子どもがいない家庭は、この活動にどのように取り組めばいいのか。
- ・孤独死などは、地域とのつながりが弱いことが背景にあるとされており、その意味でも地域と子どもとの関係づくりを進めていく必要がある。
- ・新たな地域課題について、侵入盗が増えており防犯について強化していくのはどうか。防犯灯の 30 m ルールによって増設ができず暗い道もある。
- ・地域住民のつながりを今後の課題とするべき。
- ・子どもを小学生に限定せず、幼児から中学生まで幅広く対象にしていくべき。将来的に地域を支える存在となる子どもたちが、地域を好きになれるような取組を進めていきたい。

■今後の具体的な進め方について

- ・中長期的な視点を持って取組を進めるべきであり、市平均を目指すのか、どこを最終的な到達点とするのかによって必要な施策が変わる。
- ・市民意識調査における「地域とのつながりがあるか」という質問だけでは、つながりが不足している理由や、地域活動に参加しない背景が把握できず、対策を立てにくい。地域会議として梅坪台地域を対象に、より詳細なアンケート調査を実施する必要があるのではないか。

〈今年度の協議内容について〉

- ・今年度も「地域と子どもをつなぐの強化」を継続課題として進めていくことで合意された。
- ・子どもに限定せず、多世代が参加できる地域交流の促進に取り組む方向性が示された。

8 わくわく事業紹介

事務局から「花の輪」の活動内容について説明した。

■ 今後の予定

令和8年度第3回梅坪台地域会議

7月14日（火）午後7時～梅坪台交流館中会議室にて